



This is our Communication on Progress  
in implementing the principles of the  
United Nations Global Compact.

We welcome feedback on its contents.

# TOTO

TOTO株式会社(TOTO LTD. )

Communication on Progress

2011年度

\* 対象期間:2011年4月～2012年3月まで

連絡先

会社名、部署、役職、担当者氏名

Email: [nobuhiro.yamane@jp.toto.com](mailto:nobuhiro.yamane@jp.toto.com) 電話:093-952-3353(+81 93 952 3353) Fax 093-952-3468(+81 93 952 3468)

## 会社概要

会社名:TOTO 株式会社(TOTO LTD.)

所在地:福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1  
(2-1-1,Nakashima,Kokurakita-ku,KITAKYUSHU-CITY JAPAN)

従業員数:TOTO(単独)=8、316名 (連結)=25、092名 ※2012年3月末時点

事業内容:

水まわり機器を中心とする製造販売企業。

- ・製造商品:レストルーム(大便器、小便器、ウォシュレットなど)、バス(浴槽、システムバスなど)、キッチン、洗面化粧台、水栓金具など

新規事業として、環境浄化技術「ハイドロテクト」を応用した塗料、建築材料。半導体・液晶製造分野や光通信分野で高品質高精度セラミック製品の製造販売。

### ◆TOTOの概要(WEB)

日本語:<http://www.toto.co.jp/company/profile/outline/index.htm>

English:[http://www.toto.co.jp/company/profile\\_en/outline/index.htm](http://www.toto.co.jp/company/profile_en/outline/index.htm)

### ◆TOTOの商品(WEB)

日本語:<http://www.toto.co.jp/products/index.htm>

## トップステイメント

弊社は、

2011年度におきましては、「国連グローバル・コンパクト」の10原則を支持し、同年11月に加盟いたしました。同時に、この10原則に基づき「TOTOグループ企業行動憲章」の一部を見直し、企業行動規範のさらなる徹底を図っています。

※TOTOコーポレートレポート(P1)の「TOP-MESSAGE」に記載

日本語：<http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012.pdf>

English：[http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012\\_en.pdf](http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012_en.pdf)

※WEB掲載

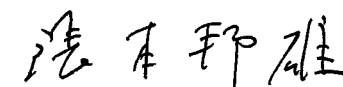
日本語サイト：<http://www.toto.co.jp/company/csr/commitment/globalcompact.htm>

英語サイト：[http://www.toto.co.jp/company/csr\\_en/commitment/globalcompact.htm](http://www.toto.co.jp/company/csr_en/commitment/globalcompact.htm)

本年度の活動としては、

TOTOは、10年度に「TOTO グリーンチャレンジ」を発信。これに基づいて、環境に配慮した商品、製造、社会貢献をグループを上げて推進しております。

(GC-JNのメンバーとしての部会・分科会活動への参加等は、12年度より開始しています。)



張本 邦雄

代表取締役 社長執行役員

2012年11月8日

## グローバル・コンパクト 10 原則

- |      |      |  |
|------|------|--|
| 人権   | 企業は、 | 原則1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、          |
|      |      | 原則2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。          |
| 労働基準 | 企業は、 | 原則3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、       |
|      |      | 原則4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、               |
|      |      | 原則5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、                  |
|      |      | 原則6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。          |
| 環境   | 企業は、 | 原則7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、         |
|      |      | 原則8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、           |
|      |      | 原則9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。          |
| 腐敗防止 | 企業は、 | 原則10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。 |

## 人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>◆方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標: 国連グローバル・コンパクト加盟に伴い「TOTOグループ企業行動憲章」へ反映する。</li> <li>・活動内容: 「TOTOグループ企業行動憲章」へ反映実施。 反映後の文書を以下に添付しています。</li> </ul> <p>※日本語: <a href="http://www.toto.co.jp/company/profile/philosophy/group/pdf/kensho.pdf">http://www.toto.co.jp/company/profile/philosophy/group/pdf/kensho.pdf</a></p> <p>※English: <a href="http://www.toto.co.jp/company/profile_en/philosophy/group/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/profile_en/philosophy/group/index.htm</a></p> <p>・主に反映させた内容</p> <p>※本文4: ・私たちは、働くすべての人々の多様性、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現します。</p> <p>※本文8: ・私たちは、各国・地域の法律の遵守、人権を含む各種の国際規範の尊重はもとより、文化</p>	<p>◆方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国連グローバル・コンパクトの10原則を、「TOTOグループ企業行動憲章」へ反映完了。</li> </ul> <p>⇒「◎」</p>	<p>◆方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標: 「TOTOグループ企業行動憲章」改訂に伴う変更点の理解促進を図る。</li> <li>・内容&amp;目標: Eラーニングによる認知促進 目標:受講率95%以上</li> </ul>

や慣習、ステークホルダーの関心に配慮した経営を行い、当該国・地域の経済社会の発展に貢献します。

◆人権研修の実施

- ・目標:人権研修の実施
  - ・拠点での開催率:100%
  - ・実施率:95%以上
    - ※管理職、一般社員を別に実施
- ・実施方法:  
資料、映像等を使用、集合研修により実施。

◆人権研修の実施

- ・拠点開催率:100%
- ・実施率:
  - 全体:97.6%
  - 管理職:96.7%
  - 一般社員:97.8%

◆人権研修の実施

- ・目標:継続的な実施による理解促進
  - 拠点開催率:100%
  - 実施率:95%以上

## 労働基準分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>◆方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標: 国連グローバル・コンパクト加盟に伴い「TOTOグループ企業行動憲章」へ反映する。</li> <li>・活動内容: 「TOTOグループ企業行動憲章」へ反映実施。反映後の文書を以下に添付しています。</li> </ul> <p>※日本語: <a href="http://www.toto.co.jp/company/profile/philosophy/group/pdf/kensho.pdf">http://www.toto.co.jp/company/profile/philosophy/group/pdf/kensho.pdf</a></p> <p>※English: <a href="http://www.toto.co.jp/company/profile_en/philosophy/group/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/profile_en/philosophy/group/index.htm</a></p> <p>・主に反映させた内容</p> <p>※本文4: ・働くすべての人々と、誠実な対話と協議を通じて、健全な関係づくりに努めていきます。</p> <p>※本文8: ・国際社会の一員として、人権を含む国際規範を尊重し、いかなる強制労働や児童労働にも関与しません。また、取引先を含むサプライチェ</p>	<p>◆方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国連グローバル・コンパクトの10原則を、「TOTOグループ企業行動憲章」へ反映完了。⇒「◎」</li> </ul>	<p>◆方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標:「TOTOグループ企業行動憲章」改訂に伴う変更点の理解促進を図る。</li> </ul> <p>内容&amp;目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Eラーニングによる認知促進</li> <li>・目標:受講率95%以上</li> </ul>

ーンに対しても、同様に国際規範尊重の徹底を図ります。

◆スピークアップ制度の運用

・目標:対応率100%

※TOTOのスピークアップ制度の流れは  
以下WEBで確認ください。

※日本語:

<http://www.toto.co.jp/company/csr/management/compliance/index.htm>

※English:

[http://www.toto.co.jp/company/csr\\_en/management/compliance/index.htm](http://www.toto.co.jp/company/csr_en/management/compliance/index.htm)

◆ステークホルダーとの対話を推進する。

①お客様:お客様満足に繋がる4つの項目で  
前年以上の実績を残す。

I アフターサービス満足度

II ショールーム感動率

III ショールーム提案感動率

IV お客様電話満足度

※実績は、以下のWEBで確認ください。

※日本語:

<http://www.toto.co.jp/company/csr/cs/philosophy/index.htm>

◆スピークアップ  
制度の運用

・件数:48件

・対応率:100%

⇒「◎」

◆ステークホルダーとの対話を推進する。

①お客様

※( )内には前年  
実績を記載

I : 88%(87%)

II : 68%(67%)

III : 60%(59%)

IV : 63点(62点)

前年クリアにより

◆スピークアップ制度の運用

目標:対応率100%継続

◆ステークホルダーとの対話を推進する。

①お客様 ⇒前年を上回る成果

②社会 ⇒頂いたご意見を12年度活動に反映  
⇒その他のステークホルダーとの対話を  
計画&推進。

対象候補:サプライチェーン、  
株主、投資家

③社員 ⇒17年度目標に向け確実にUPする。



<p>※English:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/csr_en/cs/domestic/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/csr_en/cs/domestic/index.htm</a></p> <p>②社会:ステークホルダーダイアログ開催  11年度テーマ:社会貢献の有り方  ※内容は、以下のWEBで確認ください。  ※日本語:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/csr/stakeholder/dialog/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/csr/stakeholder/dialog/index.htm</a></p> <p>※English:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/csr_en/stakeholder/dialog/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/csr_en/stakeholder/dialog/index.htm</a></p> <p>③社員:ダイバーシティの推進  以下の項目で前年以上の実績を残す。  I 女性管理職比率(17年度:10%目標)  II 障がい者雇用率(17年度:2.5%目標)  ※実績は、以下のWEBで確認ください。  ※日本語:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/csr/employees/diversity/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/csr/employees/diversity/index.htm</a></p> <p>※English:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/csr_en/employees/diversity/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/csr_en/employees/diversity/index.htm</a></p>	<p>「◎」</p> <p>②社会  予定通りの実施により「◎」</p> <p>③社員  予定通りの実績により「◎」  ※( )内には前年実績を記載  I :3.89%  (3.73%)  II :2.07%  (1.89%)</p>	
---	---	--

## 環境分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>◆活動目標:TOTOグリーンチャレンジ推進            ※TOTOグリーンチャレンジの活動目標及び11年度実績を以下WEBで掲載。            ※日本語:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/environment/administration/plan/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/environment/administration/plan/index.htm</a>            ※English:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/environment_en/administration/plan/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/environment_en/administration/plan/index.htm</a></p> <p>☆主要目標は、以下の3つ            I : 主要商品での使用時CO2削減                目標: 35%削減(対1990年比)            II : (国内)製造時のCO2 排出量削減                目標: 40%削減(対1990年比)            III : (海外)製造時CO2排出原単位削減                目標: 4%削減(対2009年比)            IV : 環境貢献活動への参加                目標: 2.3万人</p>	<p>◆TOTOグリーンチャレンジ実績。            ※主要目標に対して、概ね予定通りの達成「○」</p> <p>※以下に実績を示します。            I : 40%「◎」            II : 39.1%「▲」            ※東日本大震災起因による「電力制限」が発生。その対応として、コジエネ稼働が未達の原因。            III : 16.1%「◎」            IV : 2.3万人「○」</p>	<p>◆TOTOグリーンチャレンジの推進を継続。            以下に、12年度目標が掲載されているWEBを記載します。            ※日本語:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/environment/administration/plan/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/environment/administration/plan/index.htm</a>            ※English:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/environment_en/administration/plan/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/environment_en/administration/plan/index.htm</a></p>

## 腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>◆独禁法遵守の徹底。  目標:独禁法違反=0 の達成  ※以下のWEBに実績を開示しています。  ※日本語:「改正独禁法の対応」  <a href="http://www.toto.co.jp/company/csr/management/compliance/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/csr/management/compliance/index.htm</a>  ※English: Response to the New Antimonopoly Act  <a href="http://www.toto.co.jp/company/csr_en/management/compliance/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/csr_en/management/compliance/index.htm</a></p> <p>◆独禁法研修の推進  目標:  I:独禁法研修の実施率 95%以上  II:独禁法テスト合格率 95%以上  ※対象:TOTO 社員(販売系)</p>	<p>◆独禁法遵守の徹底  ※独禁法違反=0 を達成。「○」</p> <p>◆独禁法研修の実施。  ※目標達成により「○」とする。  ※実績を記載いたします。  I:97.2%  II:95.1%</p>	<p>◆独禁法遵守を「コンプライアンス方針」に明確化させる。  ※現在、その上の位置づけの「TOTO グループ企業行動憲章」に記載あり。(以下添付資料の7を参照ください)  ※日本語:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/profile/philosophy/group/pdf/kensho.pdf">http://www.toto.co.jp/company/profile/philosophy/group/pdf/kensho.pdf</a>  ※English:  <a href="http://www.toto.co.jp/company/profile_en/philosophy/group/index.htm">http://www.toto.co.jp/company/profile_en/philosophy/group/index.htm</a></p> <p>◆独禁法違反=0 の継続  ◆独禁法研修の実施率、合格率 95%以上</p>

このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。

自社のWEB及び「コーポレートレポート」にて、ステークホルダーに伝えます。

◆WEB: (CSR)

日本語: <http://www.toto.co.jp/company/csr/index.htm>

English: [http://www.toto.co.jp/company/csr\\_en/index.htm](http://www.toto.co.jp/company/csr_en/index.htm)

◆WEB: (環境)

日本語: <http://www.toto.co.jp/company/environment/index.htm>

English: [http://www.toto.co.jp/company/environment\\_en/index.htm](http://www.toto.co.jp/company/environment_en/index.htm)

◆コーポレートレポート:

日本語: <http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012.pdf>

English: [http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012\\_en.pdf](http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012_en.pdf)

◆財務・ESGセクション: (ESGデータ掲載、)

日本語: [http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012\\_financial.pdf](http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012_financial.pdf)

English: [http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012\\_financial\\_en.pdf](http://www.toto.co.jp/company/profile/library/2012/pdf/report2012_financial_en.pdf)